

土木学会地震工学委員会
耐震基準小委員会 第39回委員会議事録

1. 日時：平成19年7月31日 10:00～13:00
2. 場所：土木学会 C 会議室
3. 出席者：12名

4. 配布資料
 - 1) 資料 39-1 最近の地盤・基礎工の耐震設計・補強
 - 2) 資料 39-2 設計事例集 WG 活動報告
 - 3) 資料 39-3 標準化 WG 概要資料 39-4 耐震基準小委員会 HP

5. 話題提供
 - (1) 新潟県中越沖地震被害調査速報（飛田委員）
 - (2) 道路土工・河川構造物の基準改訂について（片岡委員，資料 39-1）
道路土工指針の改訂状況。
 - ・指針類の再体系化.
 - ・性能規定型化.
 - ・照査方法の進展は余りなし.
 - ・加速度応答スペクトルに適合した設計地震動を採用.

河川構造物関係の基準改訂状況

- ・レベル2地震動の導入.
- ・河川砂防技術基準（案）を補足するものとして河川構造物の耐震性能照査指針（案）を策定.

6. 議事内容

WG報告

(1) 設計事例集WG（森主査，資料 39-2）

活動予定：

- ・ISO23469 適合設計事例集 TR 作成の WD（ワーキングドラフト）および CD（コミッティドラフト）を作成.
- ・日本の設計事例の収集と事例集日本語版の作成
- ・日本の事例英語版の作成.

日本の設計事例について

- 日本の事例集は基準に則ったものしか提出されず，日本の事例集のレベルが低い．
- 国などの機関から良い事例を推薦してほしい．

(2) 標準化 WG (中村主査，資料 39-3)

趣旨説明

活動内容：

- 審議のルール作り
- 形態や書式の定型化
- パブリックコメントの集約方法

活動予定：来月から活動し，今年度中に上記の下地ができればいい．

コメント：成果をどのように土木学会にアピールする方法を議論してほしい．

(3) 経済性照査 WG (澤田委員長)

- 6月21日 WG を開催した．
- 土木学会年次学術講演会で計画学委員会と合同で研究討論会を開催．
- 今年度中に報告書を提出する予定．
- 今年度で一度 WG をクローズさせ，その後，計画学委員会との合同小委員会として継続したい．
- 鉄道標準，水道の基準の中にコストの成果を取り入れたいと考えている．

(4) 認証機関 WG (澤田委員長)

- 港湾施設の耐震性評価機関として土木学会の登録を働きかけたい．

7. その他

HP 関係 (工藤委員，資料 39-4)

- 標準化，設計事例集 WG 以外の WG についても，HP に関する情報を提示してもらいたい．
- 次回小委員会で森委員が国際会議の WS における海外の設計コンペについて紹介．